

る・く・るスタッフと
行く！自然観察会

なかかんすけ あい
中勘助が愛した
はとり くさばな かんさつ
服織の草花を観察しよう



日時 平成27年3月7日（土）
※雨天時は3月8日（日）に延期
10:00～12:00（受付9:45～）

場所 中勘助文学記念館 集合・解散

詳細は裏面をご覧ください

なかかんすけ あい はとり くさばな かんさつ
中勘助が愛した服織の草花を観察しよう

「ふと立ち止って足許を見ると、其処にも小さな美しい自然がある」—— 中 勘助

都会から移住した作家・中勘助は、服織のおだやかな自然を気に入って、多くの作品を残しました。

そんな服織の春の草花を、静岡科学館る・く・るのスタッフの解説付で観察します。

中勘助を初めて知った方、作品を読んだことがない方も、ぜひお気軽にご参加ください！

中勘助の気分になって、足元の小さな自然を見つけに行きませんか？



日時 平成 27 年 3 月 7 日(土) 10:00~12:00 (受付 9:45~)

※雨天の場合は 3 月 8 日(日)に延期

会場 中勘助文学記念館 集合・解散

住所：静岡市葵区新聞 1089-120 TEL：054-277-2970

アクセス：しずてつジャストライン 藁科線「見性寺入口」下車 2 分

駐車場の数に限りがありますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

参加費 無 料

講師 静岡科学館る・く・る エドューカー

対象 どなたでも 20 名 (小学生以下は保護者同伴)

※1 時間前後のウォーキングを予定しています。歩きやすい格好でお越しください。

申し込み 平成 27 年 2 月 13 日(金) 10:00~藁科生涯学習センター(054-278-4141)へ
電話にてお申し込みください。(申込順)



なか かんすけ
中 勘助 (1885-1965)

小説「銀の匙」で知られる中勘助は、昭和 18 年、58 歳の時に療養のため東京から旧服織村(現在の葵区新聞、羽鳥付近)へ移り、4 年半を過ごしました。村の自然や村人とのふれあいはその後の作家活動に大きな影響を与え、帰京後も村人との交流は続きました。
静岡市は、勘助が住んだ旧前田邸を中勘助文学記念館として公開しています。

こちらもご参加ください！！

「中さんの散歩道」平成 27 年 2 月 28 日(土)9:30~13:00 中勘助文学記念館集合/洞慶院解散

⇒茅葺き屋根の杓子庵や見性寺など、中勘助作品に登場する史跡を巡り、洞慶院で見頃の梅を鑑賞します。

対 象：どなたでも 30 人 参加費：1 人 500 円

申し込み：2 月 10 日(火)10:00~藁科生涯学習センター(054-278-4141)へ電話にて。(申込順)

主催：静岡市/静岡市藁科生涯学習センター

企画・制作・お問い合わせ：



公益財団法人

静岡市文化振興財団

Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

054-255-4746

